

令和2年8月21日

令和2年度学校関係者評価委員会報告書

学校法人郷学舎
アルスコンピュータ専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検評価委員会が作成した令和元年度自己点検・評価報告書をもとに、学校関係者評価委員会を実施しました。令和元年度学校関係者評価について、下記のとおり報告します。

記

1.開催日時

令和2年8月20日（木）

15：00～16：30

2.場所

アルスコンピュータ専門学校 101 教室

3.学校関係者評価委員

<関連業界関係者>

大久保 和政 氏（熊谷商工会議所 会頭）

野中 仁一 氏（学校法人浅見学園理事長三尻こども園、三尻幼稚園、三尻保育園 園長）

大島 匡 氏（医療法人くぼじまクリニック 事務長）

<教育関係者>

中村 克彦 氏（元深谷市教育委員会 教育長）

<地域代表>

木村 美知子 氏（木村社会保険労務士事務所所長 特定社会保険労務士）

<保護者代表>

吉田 初世 氏（在校生保護者）

<卒業生代表>

隅田 和利 氏（第5期卒業生）

* 当日欠席の為、事前ヒアリング実施

<事務局(学校側)>

- 山崎 彰 (学校法人郷学舎理事長)
荻野 欣男 (アルスコンピュータ専門学校校長)
新井 公一 (アルスコンピュータ専門学校副校長・企画室長)
正田 淳一 (アルスコンピュータ専門学校教務部部长)
戸川 千詠子 (アルスコンピュータ専門学校教務部学科長)
籠原 智恵 (アルスコンピュータ専門学校教務部学科長)
長瀬 あゆみ (アルスコンピュータ専門学校教務部副学科長)
田口 紀子 (アルスコンピュータ専門学校総務部副主任)

4.学校関係者評価委員会 次第

1. 開会
2. 委員紹介
3. 理事長挨拶
4. 校長挨拶
5. 委員長の選出
6. 協議【中村委員長により議事の進行が行われた】
 - ①学校関係者評価委員について
 - ②学校基本情報と近況報告
 - ③令和元年度自己点検評価結果について
 - ④意見聴取
 - ⑤その他
7. 閉会

5.学校関係者委員会報告

～各項目に関する学校関係者評価委員の評価・意見～

重点目標①②について

- 『多様な学びの場の提供』や『社会人の受け入れ態勢整備』など素晴らしい取り組みだと思う。

基準1. 教育理念・目的・育成人材像

- 卒業生がしっかりと専門技術を身に付けており、地元企業も是非受け入れたいという思いがある。
- Society5.0の時代に向けて社会を支える人材を育成して欲しい。
- AI やデータサイエンス等が世の中でも注目されているが、何か検討していることがあるか。

→AI 戦略 2019（統合イノベーション戦略推進会議決定）等を参考に専門学校として育成すべき人材像を整理し、新学科コースの新設を準備している。

基準2. 学校運営

- 特になし。

基準3. 教育活動

- コロナにより数か月先がわからない時代になったことで、これからは更に専門性を問われる時代になってくるのではないか。
- 今後も専門性の高い教育を継続できるよう、頑張ってもらいたい。

基準4. 学修成果

- コロナの影響で就職の求人に影響はありそうか。
→就職活動の開始時期が若干遅れはしたが、求人については現時点で問題ない。

基準5. 学生支援

- 4月から登校できず、どうなるか心配したが遠隔授業等を経て通常登校に移行出来て一先ず安心している。
- コロナウイルスは万全の対策をしても罹患する可能性がある。仮に、学生に感染者が出た場合の対応方法はどのようになっているか。
→本校では、文科省等の指針も参考にして対応マニュアルを整備した。また、夏休みなどの長期休業期間であっても緊急時には速やかな対応がとれるよう、教職員間の情報共有体制を整備している。

基準6. 教育環境

- With コロナの時代を見据え、点検項目に『感染症防止』を加えても良いのではないか。
- 『感染症対策』と『教育の提供』の両立は大変だと思うが、ここまでよく運営できていると思う。
- 遠隔授業等、よく実施できていると思う。

基準7. 学生募集と受入れ

- 特になし

基準8. 財務

- 特になし

基準9. 法令等の遵守

- 自己点検評価の実施を適切に行っており、情報公開も良くできていると思う。

基準 10. 社会貢献・地域貢献

- 特になし

<学校関係者評価委員会総括>

学校関係者評価委員会として、令和元年度自己点検評価報告書の内容について確認及び承認を行いました。

以上

<学校関係者評価委員会からのご意見を受けて>

委員の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、地域に根差した専門学校として使命感をもって教育活動をすすめてまいります。『地域貢献』については、本校が教育機関としての特長を活かしつつ、継続して地域社会と関わっていく仕組みづくりを検討していきたいと思えます。